

令和3年10月18日
 千葉県健康福祉部疾病対策課
 043-223-2672

感染症予防のための情報提供について

病名	腸管出血性大腸菌感染症（O157）		
住所	千葉市	年齢・性別	5歳・男性
職業等	未就学児	症状等	溶血性尿毒症症候群（HUS）、腹痛、水溶性下痢、血便、発熱、溶血性貧血、急性腎不全等
発病年月日	令和3年10月9日	届出年月日	令和3年10月15日

千葉市在住の5歳の男児が、発熱や腹痛、下痢等の症状を呈し、四街道市内の医療機関に入院し、腸管出血性大腸菌感染症及び溶血性尿毒症症候群（HUS）と診断され、印旛保健所に発生届が提出された。その後、患者は八千代市内医療機関に転院となった。

なお、現在、患者は快方に向かっている。

〔患者発生の経過〕

10月9日 発熱（38.7℃）。

10月10日 解熱。

10月11日 腹痛、下痢が見られ、千葉市内医療機関Aを受診。
 整腸剤を処方される。

10月12日 千葉市内医療機関Aを再受診。

10月13日 千葉市内医療機関Bを受診。四街道市内医療機関Cを紹介され、そのまま入院。便検査を実施。

10月14日 八千代市内医療機関Dに転院。

10月15日 便検査の結果、腸管出血性大腸菌感染症（O157）及び溶血性尿毒症症候群（HUS）と診断される。

印旛保健所に腸管出血性大腸菌感染症の発生届が提出される。

〔県民の皆様へ〕

- ・ 調理や食事の前、動物や土に触った後には、必ずせっけんを使用して十分に手を洗いましょう。
- ・ 肉を調理する場合は、中心部まで十分に加熱しましょう。また、「生肉を扱う調理用の箸やトング」と「焼けた肉を扱う食事用の箸やトング」とを必ず分けましょう。
- ・ 溶血性尿毒症症候群（HUS）など非常に重症な状態になる場合もありますので、下痢、血便等の症状がみられた時は、早めに医療機関を受診しましょう。
- ・ 社会福祉施設、介護保険施設、学校等においては、日頃から施設利用者等の健康管理に注意しましょう。

【参考】

腸管出血性大腸菌とは

1 感染経路

- 腸管出血性大腸菌は牛など家畜の腸管内にすることがあり、その糞便で汚染された食品や、糞便で汚染された場所を触った手指から経口的に感染する。

2 腸管出血性大腸菌とは

- 腸管出血性大腸菌感染症は O157, O26 が主な原因であり、その他には O111, O121, O145 などがある。

3 潜伏期間

- 2～5 日がもっとも多い。

4 症状

- 水様便から血便まで見られる。
- 嘔吐
- 溶血性尿毒症症候群（HUS）になる場合もある。

*HUS とは

溶血性貧血、血小板減少、急性腎障害の 3 主徴をもって診断する。一般に HUS は腸管出血性大腸菌感染症の患者の約 1～10%に発症し、下痢あるいは発熱出現後 4～10 日に発症することが多い。

5 治療

- 対症療法
- 脱水に対する処置
- 抗菌薬療法

6 年別発生状況（腸管出血性大腸菌感染症届出数）

	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年
千葉県	179	213	148	124	110
全 国	3,904	3,854	3,744	3,088	2,393

※千葉県分は 1 月 1 日～10 月 18 日までの累計(本件を含む)。全国分は 10 月 3 日現在。